

Limittrackingevents -する何それがおよびそれを いつ有効にするか

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[いつ limittrackingevents を有効にする必要がありますか。](#)

[limittrackingevents を有効にすると何が起こりますか。](#)

[どのように limittrackingevents を有効にしますか。](#)

概要

特色にするもの limittrackingevents が E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) であるおよびそれを有効にする方法をこの資料に記述されています。

前提条件

- AsyncOS 11.0.1-301 をまたはより新しい実行する ESA。 サポート対象バージョンの場合、[CSCzv32858](#) を参照できます。

いつ limittrackingevents を有効にする必要がありますか。

limittrackingevents 機能は ESA が [CSCzv32858](#) によって影響を与えられるとき推奨されます。この問題によりメッセージ トラッキングはトラッキング データベースに挿入される余りにも多くのイベントからのメモリ消費消耗品の交付に出会います。

limittrackingevents を有効にすると何が起こりますか。

この機能はトラッキング データベースに解析されている余分なイベントを切捨てます。

限られたイベントは次の通りです:

- WBRS フィルタ規則と一致する URL は 20 に制限されます
- 書き換えられる URL は 20 に制限されます
- VOF のために書き換えられる URL は 20 に制限されます
- メールの受信者は 50 に制限されます
- 配信される受信者は 50 に制限されます
- バウンスはメールごとに 50 に制限されます
- インジェクトの間のリモートサーバから壊れる応答は 5 に制限されます
- MID ごとの開始する配信試行は 5 に制限されます

limittrackingevents を有効にする方法

CLI から、*limittrackingevents* は *trackingconfig* の下で有効に することができます。変更を保存し、保存するために確認して下さい。

注: *limittrackingevents* は *trackingconfig* の非表示サブコマンドです従って利用可能なオプションを見ません。

```
esa.local> trackingconfig
```

```
Message Tracking service status: Message Tracking is enabled.
```

```
Choose the operation you want to perform:
```

```
- SETUP - Enable Message Tracking for this appliance.
```

```
[ ]> limittrackingevents
```

```
Limit tracking events?
```

```
Currently no events are being truncated.
```

```
Would you like enable Tracking Events to be truncated? [N]> Y
```

```
Choose the operation you want to perform:
```

```
- SETUP - Enable Message Tracking for this appliance.
```

```
[ ]>
```

```
esa.local> commit
```